

「第4期三鷹市地球温暖化対策実行計画（第1次改定）素案」に係る市民意見への対応について

【凡例】

- ①計画に盛り込みます・・・・・・意見を概ね提案どおりに盛り込むもの
- ②計画に趣旨を反映します・・・・意見の趣旨を方針に反映するもの
- ③対応は困難です・・・・・・趣旨の反映を含め方針に盛り込むことが困難なもの
- ④事業実施の中で検討します・・・・事業実施段階で判断するもの
- ⑤既に計画に盛り込まれています・・・・既に意見が方針に盛り込まれているもの。既に意見の趣旨が方針に反映されているもの
- ⑥その他・・・・・・・・・その他の意見など

パブリックコメント提出状況

人数： 11 名
件数： 104 件

※パブリックコメントによる市民意見については、一部抜粋又は意訳して掲載しています。

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市民意見※ | 対応の方向性 | |
|----|-------|---------------------|---|-----------------|---|
| 1 | 1 | 図 今後の削減イメージ | 現状すう勢による減少とは、改定前の計画に記載された対策は実行するが追加対策は含まない前提か、実行計画内の施策で現時点で未実施のものは含めない前提のどちらか。 | ⑥その他 | 現状すう勢による減少とは、現時点で未実施の施策は含めない（行わない）前提です。 |
| 2 | 4 | (5) 上位関連計画と本計画の位置づけ | 関連計画はどの部署が主体となって担当していくのか。分りやすい組織作りをしてほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 各個別計画は、基本計画と整合及び連動が図られるものであり、多くの部署が主体となって担当しています。各部署の取り組みは、様々な機会を捉え、分かりやすく伝えるよう努めます。 |
| 3 | 4 | (5) 上位関連計画と本計画の位置づけ | 温暖化対策を「市政全体の中での最重点課題の1つ」として位置づけること。 | ⑥その他 | 「三鷹市基本構想の改正案」において、その趣旨を盛り込むよう検討しています。 |
| 4 | 5 | 1-1 地球温暖化の概要 | 温暖化に関する一般的情報に留まることなく、気候危機のコトの重大性・喫緊性が伝わる内容とすべき。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 想定される地球温暖化の影響については、「第1書 計画策定の背景」等で記載をしています。なお、本計画の改定にあたっては、できるだけ多くの方が手に取れるよう、全体のページ数を抑えるよう配慮しています。 |
| 5 | 7 | 1-1 地球温暖化の概要 | 「1.5°C特別報告」の最注目点は、「2050年ゼロ」というところではなく、「この10年が最後のチャンス」などの点が世界で共通認識となったことであり、この点を強調して記載すべき。 | ①計画に盛り込みます | この10年が重要である旨の記載を追加します。 |
| 6 | 8 | 1-2 國際的な動向 | 国際的動向を理解する為、H31年の実行計画(P9)のように「主要各国の温室効果ガス削減目標の表」を今回も掲載してほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 改定計画は、極力多くの方にとって見やすいものとするため、ページ数の削減も一つの視点としています。そのため、データや説明の一部では記載内容を整理しているため、毎年度発行する実態調査報告書等でお知らせすることを検討します。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対 応 の 方 向 性 | |
|----|-------|-----------------------|--|-----------------|--|
| 7 | 8 | 1－2 國際的な動向 | G7先進国の中で唯一、石炭火力発電の廃止に強く反対していたり、再エネ電源比率（水力除く）が対策先進国の中で突出して低い点なども記載しておくべき。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 「第3章 基本方針」において、「広く市民が利用する一般電気事業者の排出係数低減は、基本的には国による課題として認識しており、市全域の温室効果ガス排出量削減も、そこに大きく依存することになります。」と記載しており、趣旨は記載されています。 |
| 8 | 9 | 図 持続可能な発電目標 | SDGs13：気候変動と16：平和は他のGOALの前進を大きく阻害する最重要課題であることを明示すべき。 | ②計画に趣旨を反映します | 気候変動が、他の目標達成を阻害する旨の記載を追加します。 |
| 9 | 21 | (6) 交通 | 運輸交通部門で最重点は、公共交通機関の利用にシフトすること＝モーダルシフトではないか。今後のるべき方向性を記載するべき。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 「第3章 基本方針」において、温室効果ガス削減の取り組みは「市民活動や経済活動との調和を図ることが重要です。」としており、経済活動を維持しながら温室効果ガス削減を進めるには、世界レベルでの技術革新が不可欠であり、今後の国によるイノベーション支援の取り組みにも期待をしています。 |
| 10 | 22 | 再エネポテンシャル | 利用可能な再生可能エネルギー資源量は、「導入ポテンシャル」ではなく、補助金やFIT等の支援制度も考慮しつつ事業性が見込める「シナリオ別導入可能量（事業性を考慮した導入ポテンシャル）」を採用すべき。 | ④事業実施の中で検討します | 「導入ポテンシャル」のうち、事業採算性がよくないものを除くと「シナリオ別導入可能量」となる図となっています。事業採算性がより改善されるよう、各種助成制度などに取り組みます。 |
| 11 | 25 | 本文 | 本文中の記載「省エネ導入比率」は「再エネ導入比率」 | ①計画に盛り込みます | 記載を変更しました。 |
| 12 | 25 | 図 区域の太陽光発電導入容量累積の経年変化 | 再エネ導入ポテンシャルと導入実績量を合体させた表を掲載してはどうか。 | ④事業実施の中で検討します | ポテンシャルに対する導入実績量の比率は、本文中に記載しています。なお、本計画の改定にあたっては、できるだけ多くの方が手に取れるよう、全体のページ数を抑えるよう配慮しています。 |
| 13 | 25 | 図 区域の太陽光発電導入容量累積の経年変化 | 太陽光発電導入容量累積では見づらいので設置軒数・容量の年次推移も分かりやすく掲載してください。 | ④事業実施の中で検討します | 導入容量の年次推移において、大きな変動は見られません。助成制度の実施の中で周知することを検討します。 |
| 14 | 25 | 図 区域の太陽光発電導入容量累積の経年変化 | 都内他市の太陽光発電設備設置率（設置件数／戸建て世帯数）ランキング等の掲載を。 | ④事業実施の中で検討します | 助成制度の実施の中で周知することを検討します。なお、本計画の改定にあたっては、できるだけ多くの方が手に取れるよう、全体のページ数を抑えるよう配慮しています。 |
| 15 | 26 | コラム | 「Go to One Hundred Project」提言に対し、行政としてなにか支援するつもりか。 | ④事業実施の中で検討します | コラムに記載の調査は、令和4年度の三鷹市環境活動表彰を受賞し、市ホームページや広報みたかに掲載して皆様への周知を図っています。今後も、本計画への記載など機会をとらえて周知を図ります。 |
| 16 | 26 | コラム | 市内の太陽光発電を増やしていくための政策を明らかにしてほしい。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 設備設置助成制度やゼロエネルギー・タウン開発奨励事業を推進するほか、広報や講座により周知・啓発を進めます。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市民意見※ | 対応の方向性 | |
|----|-------|---------------------|---|-----------------|--|
| 17 | 27 | 三鷹市のこれまでの取り組みと評価 | 第1期計画からの取り組みで、どこが不足していたのかを適切に把握するところから始める必要がある。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 「第3章 基本方針」において、温室効果ガス削減のための課題をまとめており、それに基づき取り組みの基本方針を定めています。 |
| 18 | 28 | 本文 | 「市全域における温室効果ガス総排出量は、平成25(2013)年度以降やや減少」の記載は、40ページと整合すべき。 | ①計画に盛り込みます | 「微増もしくは横ばい」と記載を追記しました。 |
| 19 | 29 | 本文 | H30～R2年度とも目標未達成の結果だったこと、未達成の要因を加えるべき。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 人口・世帯数の増加や事務所や店舗の床面積の増加等が要因と分析しています。 |
| 20 | 31 | 太陽光発電設備導入状況 | 公共施設における太陽光発電導入が2016年以降、全く進まない要因を説明すべき。 | ①計画に盛り込みます | これまでには、設置可能な公共施設が明らかになっていなかったため、現在は設置可能性調査を行っており、要因とともに記載を追加します。 |
| 21 | 32 | 第3章 基本方針 | 市として、公共交通機関の利用を進める施策を具体的に記載してください。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 第4章では、環境にやさしい交通環境の構築について記載しています。 |
| 22 | 32 | 第3章 基本方針 | 「排出係数を引き下げる取り組みを加速するよう国に意見していく」ことを実践してください。 | ④事業実施の中で検討します | 国に対しては、様々な機会をとらえて要望をしていきます。 |
| 23 | 34 | (1) 家庭における省エネの着実な推進 | 「市民の自発的な行動変容」を追記し、「意識啓発や家庭における省エネ行動等市民の自発的な行動変容を促すための取り組み～」とする。 | ①計画に盛り込みます | 記載を追加します。 |
| 24 | 35 | 図 計画達成に向けたロードマップ | 中間点である2025年(or 2026年)にロードマップの全般的な進捗確認と見直しを実施すべき。 | ⑥その他 | 今回は計画改定であり、本計画期間の中では困難なため、次期計画策定の際に検討します。温室効果ガス排出量は、毎年度算定し、削減目標に対する評価を実施します。 |
| 25 | 35 | 図 計画達成に向けたロードマップ | 「区域施策編」は項目も少なく、一般的で具体性にかける。事務事業編以上にもっと詳細にロードマップを作成すべき。 | ④事業実施の中で検討します | 区域の施策は、市民活動や経済活動との調和を図り、経済活動を維持しながら温室効果ガス削減を進めます。そのために、世界レベルでの技術革新が不可欠であり、今後の国によるイノベーション支援の取り組みにも期待することとし、事業実施の中で新たな技術の採用を進めていきます。 |
| 26 | 35 | 図 計画達成に向けたロードマップ | 「革新的な脱炭素技術の導入・検討」を追記する。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 既に「革新的な脱炭素技術の導入」と記載しています。 |
| 27 | 35 | 図 計画達成に向けたロードマップ | 図中の「脱炭素型電力」を「脱炭素型エネルギー」に改める。 | ⑥その他 | 事務事業で使用するエネルギーは燃料転換を進め、脱炭素型エネルギーのうち、脱炭素型電力の導入を目指します。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対 応 の 方 向 性 | |
|----|----------------|------------------------|--|-----------------|--|
| 28 | 35 | ロードマップ | 期間やスケジュールなど、具体的な目標が見えるようまとめ、何をしないといけないのか見せるべき。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 本ロードマップは、全体の道筋を示すものです。具体的な目標や取り組み内容等は、第4章及び第5章を参照ください。 |
| 29 | 35～39 | 計画達成に向けたロードマップ | ロードマップには、削減目標や取り組み項目をもっと掲げてほしい。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 本ロードマップは、全体の道筋を示すものであり、ここでの掲載は困難ですが、具体的な目標や取り組み内容等は、第4章及び第5章に記載されています。 |
| 30 | 37 | 検討1 公用車を活用したEVカーシェアリング | カーシェアリングによる普及は、なるべく早く、民間レベルに広範囲に広めてください。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |
| 31 | 38 | 検討2 市域で使う再エネ電源の確保 | 新たな再エネ発電所建設に何らかの形で市も関与し、実際に大気中に排出されるCO2が減る取り組みにしてください。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |
| 32 | 38 | 検討2 市域で使う再エネ電源の確保 | 集合住宅や賃貸住宅居住の市民も自ら再エネ拡大・利用に参加できるスキームを検討してください。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |
| 33 | 38 | 検討2 市域で使う再エネ電源の確保 | ソーラーシェアリングや電力以外での地方との連携と合わせて地方都市間の循環共生圏構築を目指してください。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |
| 34 | 39 | 検討3 自治体新電力を活用した電力の脱炭素化 | 事業性を慎重に検討してください。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |
| 35 | 39 | 検討4：カーボンオフセット | 通常のクレジット購入はCO2削減価値を右から左に移すだけでCO2削減の直接的追加性がないため、物理的にCO2排出量が減る対策を優先してください。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |
| 36 | 37 38 39 | 検討1～検討4 | 市が率先垂範する施策の検討は、いつまでに実施し、いつ具体化や実行、または次のステップに向かうかを明記してほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 市が率先垂範し、施策の実現を目指すものとしています。時期や具体的な内容については、検討を進める中で明らかにしていきます。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対 応 の 方 向 性 | |
|----|----------------|----------------------------|---|---------------|---|
| 37 | 37 38 39 | 検討 1～検討 4 | 検討する施策に次の事項を追加する。 『メタネーション技術を活用した都市ガスの確保による脱炭素化』 | ⑥その他 | 「第3章 基本方針」において、「温室効果ガス削減の取り組みは～市民活動や経済活動との調和を図ることが重要～経済活動を維持しながら～進めるには、世界レベルでの技術革新が不可欠であり、～」としており、メタネーション技術には大いに期待をしているところですが、三鷹市の取り組みを取りまとめた本計画にはなじまないものと考えます。 |
| 38 | 40 | 第4章 区域施策編 | 各年の部門別消費電力量と排出係数に分解した目標値を入れる。 | ②計画に趣旨を反映します | 各年の部門別消費電力量と排出係数に分解した目標値を設定することは行っていませんが、部門別の二酸化炭素排出量と排出係数の推移を追加します。 |
| 39 | 41 | 表 三鷹市内の温室効果ガス排出量の推移 | 2022年度の実績データを記載すべき。 | ④事業実施の中で検討します | 記載のデータが入手可能な最新のものとなっています。 これは、区域の排出量データはオール東京62区市町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による標準算定化手法により算定しており、あらゆる業種や分野で算定を行うため、時間がかかるためです。最新のデータは、算定でき次第、ホームページ等でお知らせします。 |
| 40 | 43 | 部門別の二酸化炭素排出量 | 民生部門（業務）及び廃棄物部門が増えた要因を分析・記載すべき。 | ①計画に盛り込みます | 事務所や店舗の床面積の増加や焼却ごみにおける廃プラスチック組成率の増加等、減少が進まない原因を追記します。 |
| 41 | 44 | 令和元（2019）年度の二酸化炭素排出係数 | 使用した二酸化炭素排出係数を記載してほしい | ①計画に盛り込みます | 記載を追加します。 |
| 42 | 44 | (1) 推計条件 | 三鷹市の1世帯あたり排出量や1人あたり排出量、事業所床面積あたり排出量の数値、近隣自治体との比較ができるよう提供すること。 | ④事業実施の中で検討します | 本計画では、総量での評価を考えていますが、結果の報告にあたっては、一人当たり排出量などの算出について検討します。 |
| 43 | 44 | (1) 推計条件 | 大規模事業所の転出入の影響を把握し、“既存店ベース”でのCO ₂ 増減の評価が適切ではないか。 | ④事業実施の中で検討します | 事業所別のデータ収集及び公表は困難ですが、大規模事業所の転出入の影響を考慮した評価が可能であるか、検討します。 |
| 44 | 47 | 目標：50%削減 | 削減目標について、電気の排出係数低下による削減と、それ以外の行政、市民や事業者の追加施策の削減を区別すべき。 | ④事業実施の中で検討します | 電気の排出係数低下による削減と、施策の実行による削減の区別は行っていませんが、排出量に合わせて排出係数を示せるよう、検討していきます。 |
| 45 | 47 | 目標：50%削減 | 最低でも、「1.5°C未満」の足を引っ張らないレベルを目指し、全体で▲56%以上の削減目標とすべき。 | ⑥その他 | 削減目標は▲50%としますが、国の部門別目標を考慮しつつ、温室効果ガス削減に取り組みます。 |
| 46 | 48 | 2025年（2020年と2030年の中間）の削減目標 | 年次か最低2025年（中間年）の目標を追記してほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 年次ごとの目標設定は困難ですが、市民活動や経済活動との調和を図りながら市民、事業者、市が協働しながら取り組みを進めていきます。温室効果ガス排出量は、毎年度算定し、削減目標に対する評価を実施します。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対 応 の 方 向 性 | |
|----|-------|---|---|-----------------|--|
| 47 | 48 | 目標達成に向けて取り組む主な施策 | 主な各施策に対する削減目標値を追記してほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 個々の施策による削減量（目標）を計ることは困難ですが、事業を検討する中では、削減量の視点を持って取り組みます。なお、日々の取り組みによる削減効果等については、事例を紹介しています。 |
| 48 | 48 | 民生（家庭）部門の削減目標 | 一部市民だけでなく大多数の市民が「現状と2030年削減目標に向かった課題」を理解し主体的に行動推進するため、行政にもっと積極的に啓蒙活動を実施してほしい。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 多くの市民が行動に移せるよう、計画の策定・実施・評価・報告等の様々な場面において周知・啓発に努めます。 |
| 49 | 49 | 2022年12月1日に「三鷹市ゼロカーボンシティ宣言」の認知度向上には、市の施設や学校、事業所などへのポスター掲示等を実行して、大多数の市民の認知を図るべき。 | | ④事業実施の中で検討します | これまでも様々な機会を通じて周知をしてきましたが、更なる認知度の向上を目指し、周知のあり方を検討していきます。 |
| 50 | 49 | 本文 | 代替フロン類は、従来延長を超えた実効性のある対策の実施が必要かと思う。（条例で市内の新設エアコンは自然冷媒のものに限定するなど） | ④事業実施の中で検討します | 条例による使用規制等は考えていませんが、排出削減に向けて周知・啓発を進めています。 |
| 51 | 50 | (1) ゼロカーボンに向けた基本方針 | 「中期（2030年度まで）」において、「太陽光発電」を「太陽光発電やコーチェネレーションシステム」とする。 | ④事業実施の中で検討します | 中期（2030年度まで）において、再生可能エネルギーの利用を進める目的で、太陽光発電の導入を促進します。コーチェネレーションシステムの普及促進については、メタネーション技術の進展を見ながら検討します。 |
| 52 | 50 | (1) ゼロカーボンに向けた基本方針 | 「長期（2050年度まで）」において、「メタネーション技術等の」を追記する。 | ④事業実施の中で検討します | メタネーション技術には大いに期待をしているところですが、現時点では、メタネーション技術の進展を見ながら検討します。 |
| 53 | 51 | ①市民・事業者の省エネ行動の支援 | 環境学習・環境活動の推進に学校での環境教育や環境学習を加えてほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 現在も環境ポスターの募集等を通じて、市内小中学校の児童・生徒に環境について考えていただいている。今後も教育委員会との連携を図り、環境学習を進めています。 |
| 54 | 51 | ①市民・事業者の省エネ行動の支援 | 新エネ、省エネ導入支援では助成制度の他に相談窓口を設けてほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 現在も窓口での相談は受けておりますが、より相談しやすい窓口の在り方を検討していきます。 |
| 55 | 51 | ①市民・事業者の省エネ行動の支援 | SDGsの取り組みをしている市内の企業や店を紹介する市のサイト作ってほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 現在も環境基金を活用して、環境活動の顕彰を行っております。SDGsの取り組みも視野に入れながら、事業を進めています。 |
| 56 | 51 | (2) 区域の各部門・分野での対策とそのための取り組み | 具体的にどういう個別施策を実施し、どれだけの実施量（OUTPUT目標）を目指し、CO2何トン削減を目標（OUTCOME目標）とするのか、ということを、記載すべき。 | ④事業実施の中で検討します | 個々の施策による削減量（目標）を計ることは困難ですが、事業を検討する中では、削減量の視点を持って取り組みます。 |
| 57 | 51 | (2) 区域の各部門・分野での対策とそのための取り組み | 「三鷹市リサイクルカレンダー」に、季節に応じた具体的な省エネ対策や気候変動に関するコラム、情報源、学習会告知などを載せられないか。 | ④事業実施の中で検討します | 「三鷹市リサイクルカレンダー」を作成するごみ対策課と連携し、情報掲載の可能性について検討していきます。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対 応 の 方 向 性 | |
|----|----------|--------------------------------|--|-----------------|---|
| 58 | 52 | ③循環型社会への対応 | ゴミの減量はCO ₂ の削減になる。具体的な対策を書き込んでほしい。 | ④事業実施の中で検討します | ごみの減量に向けた詳細な対策を本計画に書き込んではいませんが、二酸化炭素排出量削減に向けて重要であることは認識しています。様々な機会を通じて、周知・啓発を進めていきます。 |
| 59 | 52 | ③循環型社会への対応 「過剰包装・使い捨て商品の抑制」 | 飲料等を多く販売する店舗には、「排出された後も、生産者が引き取り、リサイクルすること等」をしっかりと要請してほしい。 | ⑥その他 | リサイクルの要請等について本計画に書き込んではいませんが、その趣旨に沿って検討します。 |
| 60 | 52 | ③循環型社会への対応 「過剰包装・使い捨て商品の抑制」 | まちなかや住宅街にある自動販売機の設置者は、必ず回収ボックスを設置するよう要請してください。 | ⑥その他 | 自動販売機の回収ボックスについて本計画に書き込んではいませんが、様々な機会をとらえリサイクルを推進します。 |
| 61 | 52 | ③循環型社会への対応 「過剰包装・使い捨て商品の抑制」 | 積極的に容器包装類の回収を行っている好事例を市民から募集・顕彰し、市民に広く宣伝（広報等）してください。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | ごみ減量に貢献する取り組みなどの優れた環境活動は、三鷹市環境基金を活用して顕彰を行っており、広く周知・啓発をしていきます。 |
| 62 | 53 | ④緑を生かしたまちづくりの推進 | 落ち葉や剪定枝、家庭の生ごみの堆肥化を進め、公共施設の花壇での使用や、市民に直接配布することも検討ください。 | ④事業実施の中で検討します | 落ち葉や剪定枝の堆肥化について本計画に書き込んではいませんが、生ごみについては、生ごみ処理機の購入金額の一部を助成しています。生ごみ処理機で処理したものは、公共施設の花壇での使用は考えていないものの、堆肥として園芸や家庭菜園に利用することができます。 |
| 63 | 51～54 | 区域の各部門・分野での対策とそのための施策 | 取り組み内容が、継続、改定、新設などの区分に相当するのか追記してほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 新規や継続であるかに問わらず取り組みを進めるため、特に区分をしていませんが、特に新規や変更された取り組みについては丁寧な周知に努めます。 |
| 64 | 55 | (3) 市民・事業者の主体的な行動 | 「自発的な行動変容や」を追記し、「市民及び事業者の自発的な行動変容や省エネ型のライフスタイル～」とする。 | ①計画に盛り込みます | 記載を追加します。 |
| 65 | 55 | (3) 市民・事業者の主体的な行動 | インセンティブ提供等により、「ふつうの市民」の参加を促す。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 「①市民・事業者の省エネ行動の支援」において、みたか地域ポイントの活用など、より参加しやすい環境づくりを進めることとしています。 |
| 66 | 55 | (3) 市民・事業者の主体的な行動 | 脱炭素志向のある宅配事業者や地域協定を結んでいる生協等の事業者に広報協力依頼 | ④事業実施の中で検討します | 事業者とも協働で取り組みを推進できるよう、検討していきます。 |
| 67 | 55 | (3) 市民・事業者の主体的な行動 | 家庭のCO ₂ 見える化ツールを導入してはどうか。 | ①計画に盛り込みます | 家庭のエネルギーの”見える化”検討について、記載を追加します。 |
| 68 | 55 56 | 市民（家庭）の主な取り組み | 家庭で省エネ対策に取り組んだ時の削減効果試算例は現実的でなく、掲載する意味は薄い。 | ⑥その他 | 身近な取り組みであっても、多くの世帯が実施することで効果が期待できることをイメージできるよう、記載をしています。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対 応 の 方 向 性 | |
|----|----------|--------------------------------------|---|-----------------|---|
| 69 | 55 56 | 市民（家庭）の主な取り組み | すでに多くの人が省エネ対策を実践しているのではないかとも思う。むしろ、三鷹市の補助制度などの事業をわかりやすく記載してみては。 | ④事業実施の中で検討します | 身近な取り組みではありますが、まだ十分に浸透してはいないと考えております。引き続き周知・啓発を進めていきます。また、補助制度などの事業については、広報紙など別の機会をとらえて周知していきます。 |
| 70 | 60 | 新エネルギー（再生可能エネルギー）導入助成による最大出力量の合計と目標値 | 再生可能エネルギーの2030年までの年次目標を表記してほしい。 | ⑥その他 | 新エネ導入助成については、これまで三鷹市環境基本計画2022において達成指標を設定してきました。今後、太陽光発電設備の義務化など助成制度によらない設置の増加が見込まれる中、設備の導入状況の把握方法なども含めて検討していきます。 |
| 71 | 62 | 民生（業務）部門の内での割合 | 事務事業区分は民生（業務）の外数と誤解されがちなので、「民生（業務）部門の内数でありその割合は民生（業務）部門の6.8%（2013）/6.4%（2030）年」などの記載をしてほしい。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 序章の「（3）計画の構成」において、「区域施策編は、～市の事務及び事業に伴い発生する排出量についても、市内で活動する事業者の1つとして含んでいます」としています。 |
| 72 | 66 | 50%削減目標 | 50%の削減目標の電気の排出係数前提（0.37kg-CO ₂ /kWh）を記載すべき。 | ④事業実施の中で検討します | 本計画では、総量での評価を考えており、前提となる排出係数は想定していませんが、P64に示す推計条件を基に設定しています。結果の報告にあたっては、排出係数を合わせて示していきます。 |
| 73 | 66 | 表 第4期（第1次改定）計画における削減目標 | 区域施策編のP48の「表 部門別削減目標一覧」と同じ形式にした方が理解しやすい。 | ①計画に盛り込みます | 表の形式を変更します。 |
| 74 | 66 | 施設区分別削減目標 | すべての区分で削減目標は一律に50%となっています。施設区分ごとの対策到達点の違いや固有の施策も検討した上での削減目標になっているのでしょうか？ | ⑥その他 | いずれの区分も、同程度の削減が必要と考えています。 |
| 75 | 68 | (1) 取り組みの基本方針 | 「更なる省エネルギー活動の推進」の「災害用電源の確保～」において、「コーチェネレーションシステムや停電対応型GHP等の省エネ設備」を追記する。 | ④事業実施の中で検討します | 防災・減災と脱炭素化の同時実現のため、太陽光発電の導入を促進します。コーチェネレーションシステムについては、メタネーション技術の進展を見ながら検討します。 |
| 76 | 68 | 5-5目標達成のための取り組み | 市内の公共施設への太陽光発電設備、太陽熱利用設備、蓄電池の導入を計画的に早く進めてほしい。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 市内の公共施設への太陽光発電設備の導入を推進します。 |
| 77 | 68 69 | (1) 取り組みの基本方針 | 取り組み内容が、①継続、②改定、③新設などの区分に相当するのか追記してほしい。 | ④事業実施の中で検討します | 新規や継続であるかに問わらず取り組みを進めるため、特に区分をしていませんが、特に新規や変更された取り組みについては丁寧な周知に努めます。 |
| 78 | 69 | (1) 取り組みの基本方針 | 「カーボン・マネジメント体制の運用」において、「カーボンニュートラル化したエネルギーの有効活用を図ります。」を追記する。 | ②計画に趣旨を反映します | 「温室効果ガスの削減に寄与する公共施設や設備の更新・改修・管理」に追記します。 |
| 79 | 70 | (2) 設備改修・更新による取り組み | 「施設の更新時に」とか「積極的な導入」に留まらず、遅くとも計画期間前半で完了するよう、実施時期の前倒し検討を。 | ④事業実施の中で検討します | 施設更新時などの機会をとらえて実施をしていきますが、その中でもより早い実施を検討していきます。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対応の方向性 | |
|----|-------|--------------------|--|-----------------|---|
| 80 | 70 | (2) 設備改修・更新による取り組み | 「2030年に設置可能な建築物・敷地の約50%以上、2040年に100%に太陽光発電を設置」、という国の方針をどのように実現していく計画なのかの記載を。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | 「設備更新に係る主な取り組み」において、「導入可能な施設のうち、令和12（2030）年までに50%以上の施設で導入」としています。 |
| 81 | 70 | (2) 設備改修・更新による取り組み | LED化が可能なのに交換がまだ完了していない箇所が少なからず残っている、ということでしょうか？ | ⑥その他 | 現在、LED化が可能な街路灯は完了しており、市役所本庁舎や第二庁舎においてもLED化（一部高効率照明あり）を行いました。今後設置する街路灯についても、LEDを基本としていきます。 |
| 82 | 70 | (2) 設備改修・更新による取り組み | 「空調等熱源機器」において、「再生可能エネルギーを」を「再生可能エネルギー や カーボンニュートラル化したエネルギーを」とする。 | ①計画に盛り込みます | 記載を追加します。 |
| 83 | 73 | 気候変動適応計画 | 災害弱者の保護救済という視点からも適応計画検討を | ⑤既に計画に盛り込まれています | 第6章を気候変動適応計画と位置づけ、安心して暮らすことのできるまちの実現を目的に取りまとめます。 |
| 84 | 73 | 気候変動適応計画 | 重要インフラのバックアップ電源としての太陽光発電と、「走る蓄電池」としてのEVの分散配備を | ④事業実施の中で検討します | 「災害用電源設備の確保」及び「公共施設への自立電源設置」としており、詳細は事業実施の中で検討していきます。。 |
| 85 | 80 | 推進体制 | 「気候市民会議開催」や、「ゼロカーボン推進室（仮称）設置」などの実施を。 | ④事業実施の中で検討します | 本計画は、市民、団体、事業者、市及び「みたか環境活動推進会議」といった地域の様々な主体が連携・協働して、計画を推進していきます。 |
| 86 | 80 | ●みたか環境活動推進会議 | みたか環境活動推進会議を知らない市民が多く、ワークショップを含めた連続環境講座など企画して、広く市民参加を呼び掛けることが必要。 | ⑤既に計画に盛り込まれています | みたか環境活動推進会議は、各種の講座や体験型イベントなどの開催を通じて、イベント参加者である市民の意見を広く集め、市とも共有を図ることとします。 |
| 87 | 80 | 進捗状況の公表 | 大多数の市民、事業者等が計画内容や進捗を認知するため、市の施設や事業所等へのポスター掲示等による周知徹底や、学校での教育などへも広げるべきである。 | ④事業実施の中で検討します | 今後も広報・ホームページや各種の展示や講座、体験型イベントなどの機会をとらえて、周知・啓発を進めています。なお、市の取り組む環境施策の成果などをまとめた三鷹市環境レポートを毎年発行し、市の施設に配置しています。 |
| 88 | | 全般 | 市内の商店に対して、過剰包装やビニール袋の配布を見直すよう、求めていただきたい。 | ④事業実施の中で検討します | 使い捨てプラスチックの減量については、市民の皆様や関係団体等と協働で各種キャンペーンの実施や環境講座等による普及啓発に取り組んでいます。今後も引き続き、普及啓発を進めます。 |
| 89 | | 全般 | 太陽光パネルの設置促進 ・太陽光エネルギーなど再生エネルギーに関して正しい情報の発信 ・助成金・補助金制度の拡充 ・悪徳業者の排除（三鷹市認定の業者斡旋） | ④事業実施の中で検討します | 太陽光発電設備の普及促進については、今後も広報や展示、講座開催等による情報発信・導入経費の助成等に取り組んでいます。 |
| 90 | | 全般 | 断熱対策 ・一戸建ての断熱対策費用の助成・補助 ・断熱方法の案内・普及（今すぐできること～抜本的対策） ・悪徳業者の排除（三鷹市認定の施工業者斡旋） | ④事業実施の中で検討します | 住宅・建築物の断熱対策については、今後も広報や展示、講座開催等による情報発信・改修工事経費の助成等に取り組んでいます。 |

| No | 該当ページ | 該当部分 | 市 民 意 見 ※ | 対応の方向性 | |
|-----|-------|------|---|---------------------|--|
| 91 | | 全般 | 専門家による施策立案・報告・検証 (市民に広く見える形で) | ④事業実施の中で 検討します | 本計画の策定・改定にあたっては、専門的見地からの意見を収集するため、環境保全審議会による審議を行い、進捗状況の報告を行っています。 |
| 92 | | 全般 | 三鷹市の対策・取り組みを全市民に告知、国内の他自治体に広くアピール | ④事業実施の中で 検討します | 広報・ホームページのほか、様々な機会を通じて周知を進めています。 |
| 93 | | 全般 | 居住・勤続年数に応じた税金・購入費用の優遇制度の実行 | ⑥その他 | 居住・勤続年数に応じた税金・購入費用の優遇制度の実行は考えていませんが、市民の自発的な行動につながる動機付けについては、検討を進めています。 |
| 94 | | 全般 | 目標値を達成できなかった時の責任の所在、責任の取り方をあらかじめ設定 | ⑥その他 | 市民、団体、事業者及び市といった様々な主体が連携・協働し、目標を達成できるよう取り組んでいきます。 |
| 95 | | 全般 | 「他人ごと」ではなく、市民一人一人が「自分ごと」として捉えて、考えて、実践していくような社会にするには、どうしたら良いのでしょうか。 | ④事業実施の中で 検討します | 広報・ホームページのほか、展示や講座の開催など様々な機会を通じて周知・啓発を進めています。 |
| 96 | | 全般 | 「気候市民会議」などを開催して「市民+事業者+自治体」の連携・協働の取り組みを示してほしい。 | ④事業実施の中で 検討します | 市民、団体及び事業者から構成される「みたか環境活動推進会議」などで、省エネルギー活動を推進する人財の育成などを図り、ゼロカーボンシティの実現を目指した活動を進めています。 |
| 97 | | 全般 | ふじみ衛生組合におけるリサイクルセンター建替えによる影響やプラスチック及びペットボトルの熱回収(焼却)を増やさないよう、どのような施策を行うのか。 | ⑥その他 | 今後、様々な施設の建替えなどによる影響があったとしても、削減目標に向けて取り組みます。 また、使い捨てプラスチックの減量については、市民の皆様や関係団体等と協働で各種キャンペーンの実施や環境講座等による普及啓発に取り組んでいます。今後も引き続き、普及啓発を進めます。 |
| 98 | | 全般 | 使用済み紙おむつの焼却を回避するため、分別収集を検討ください。 | ⑥その他 | ごみ分別のあり方については、引き続き検討していきます。 |
| 99 | | 全般 | 具体的にどういう個別施策を〇年間でどれだけ実施し、それによりCO ₂ を何トン削減するという成果目標を記載すべきでは。 | ④事業実施の中で 検討します | 個々の施策による削減量(目標)を計ることは困難ですが、事業を検討する中では、削減量の視点を持って取り組みます。 |
| 100 | | 全般 | 年度ごとの具体的な目標数値を表にしたほうがいいと思います。 | ⑤既に計画に盛り 込まれています | 事務事業における温室効果ガスの削減目標は、図を掲載しており、年平均3.7%を見込んでいます。 |
| 101 | | 全般 | 生ごみのたい肥化を市で取り組んでほしいと思います。 | ⑥その他 | 市では、家庭から出るごみを減らすことを目的に、生ごみ処理機の購入金額の一部を助成しています。生ごみ処理機で処理したものは、堆肥として園芸や家庭菜園にも利用することができます。 |
| 102 | | 全般 | みたか環境活動推進会議をもっと市の環境活動と連動したものにしたほうがいいと思います。 | ④事業実施の中で 検討します | 各種の講座や体験型イベントなどの開催を通じて、イベント参加者である市民の意見を広く集め、市とも共有を図ることとします。 |
| 103 | | 全般 | 事態が切迫していることを伝えることとともに具体的な施策を市民を巻き込んで実行していただきたい。 | ④事業実施の中で 検討します | 広報・ホームページのほか、展示や講座の開催など様々な機会を通じて周知・啓発を進めています。また、市民・団体・事業者及び市といった様々な主体が連携・協働して取り組んでいきます。 |
| 104 | | 全般 | 事業者については、全事業者がモデルという意識で一斉に走り始めないと目標が達成できないと懸念する。 | ④事業実施の中で 検討します | 多くの事業者が行動に移せるよう、計画の策定・実施・評価・報告等の様々な場面において周知・啓発に努めます。 |